



新商品の一例

既存商品の改良と新商品の開発に取り組みました

企業組合東由利特産物振興会

組合の紹介と事業の背景

企業組合東由利特産物振興会は、由利本荘市東由利地域の農産物加工所で農産物などの加工・販売を手がけているほか、八塩いこいの森センターハウスで地域の特産である「やしおそば」やうどん等の食事を提供しており、任意団体として約20年にわたって活動した実績を活かし、平成27年に企業組合として法人化しました。

昨年度、本会の組合活力向上事業を活用して、組合運営における問題点を洗い出し、効率的な生産・販売体制を構築するための勉強会を開催し、運営を見直しました。

取組内容

専門家から得たアドバイスをもとに、既存商品の「からしきゅうり」、「粕漬け」などを改良したほか、新規商品の開発に取り組み、「あられ(カレー味)」や「ミニドーナツ(5個入り)」、「ふぐれっ(小)」、「紫芋まんじゅう」、「どら焼き」、「おやき」を開発しました。

特に、ドーナツは1個あたりのサイ

ズを小さくし、「ころころドーナツ」として売り出したところ、食べやすいと好評で、従来のドーナツに比べて売上が3倍程度になりました。

また、あられ(カレー味)は既存商品のあられの派生商品として開発されたもので、専門家のアドバイスに基づいて、カレーの風味を強くする改善を行った結果、売上也好調となっています。

ドーナツなどに使われるあんこは手作りし、あられなどの原料となるもち米は東由利地域で生産されたものを使用するなど、いずれの商品も、地元の原材料を使い、手作りにこだわっています。

これらの商品は、近くにある道の駅「東由利」の直売コーナーやイオンスーパーセンター本荘店などで売られているほか、ドーナツは由利本荘市の「FRESH GREEN」でも販売されています。

期待される効果と今後の活動

売上は好調に推移しており、今後は、県内にある他の道の駅など、販売先の開拓が期待されます。

石渡理事長は「売上を少しでも上げて、経営を軌道に乗せるとともに、地元・東由利で稼ぎ、地域に貢献したい。」と抱負を述べています。



〔商品を手作りする作業の様子〕

【企業組合東由利特産物振興会】

- ▶所在地/由利本荘市東由利老方
字四ツ眼22番地7
- ▶代表理事/石渡 香菜子
- ▶組合員数/4名
- ▶主な事業/農産加工品の製造
・委託販売、食堂運営
- ▶設立/平成27(2015)年9月11日